

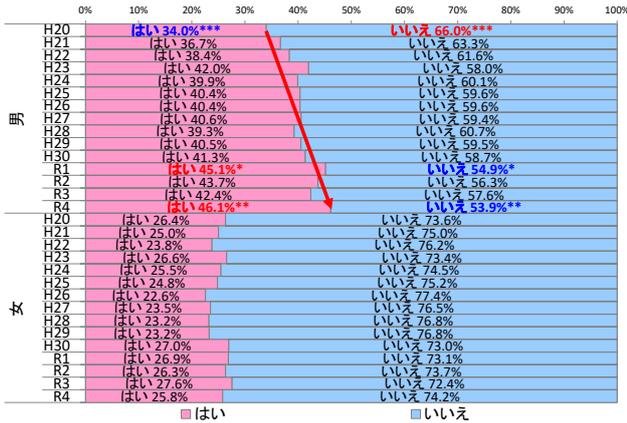
第5章 健康課題の把握

1 20歳からの体重変化(平成20年度～令和4年度結果)

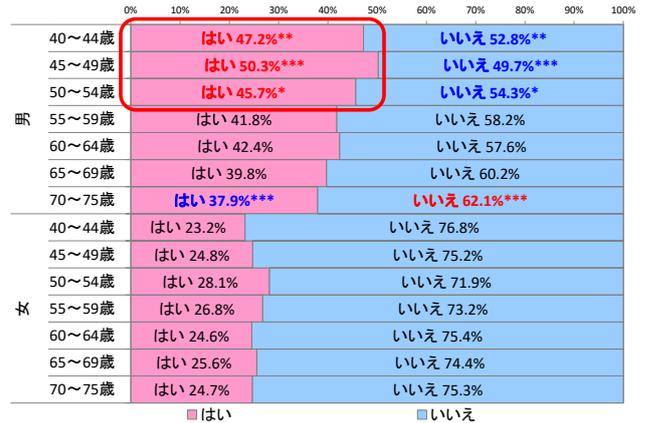
特定健康診査結果から「20歳の時の体重から10kg以上増加している」人の状況をみると、年次別には男性で「はい(増加している)」が増加傾向にあります。(図表45)

年齢別には、男性の「40～54歳」で「はい」が多くなっています。(図表46)

図表45 20歳からの体重変化(性別年次別)



図表46 20歳からの体重変化(性別年齢別)

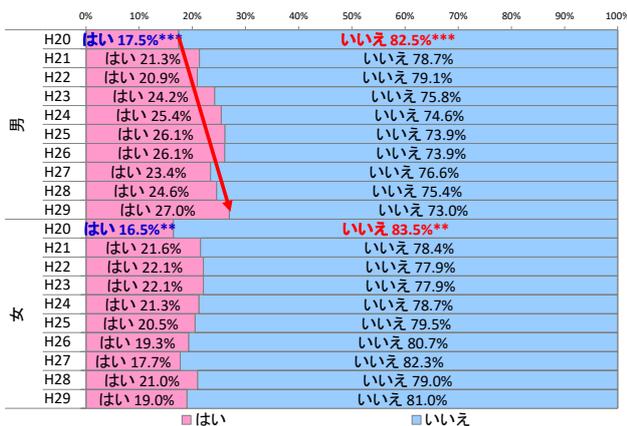


2 1年間の体重変化(平成20年度～29年度結果)

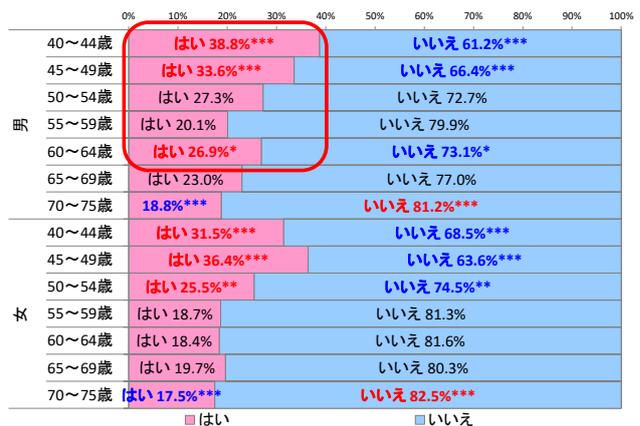
特定健康診査結果から「この1年間で体重の増減が±3kg以上あった」人の状況をみると、年次別には男性で「はい(増減があった)」が増加傾向にあります。(図表47)

年齢別には、男性の「40～64歳」で「はい」が多くなっています。(図表48)

図表47 1年間の体重変化(性別年次別)



図表48 1年間の体重変化(性別年齢別)

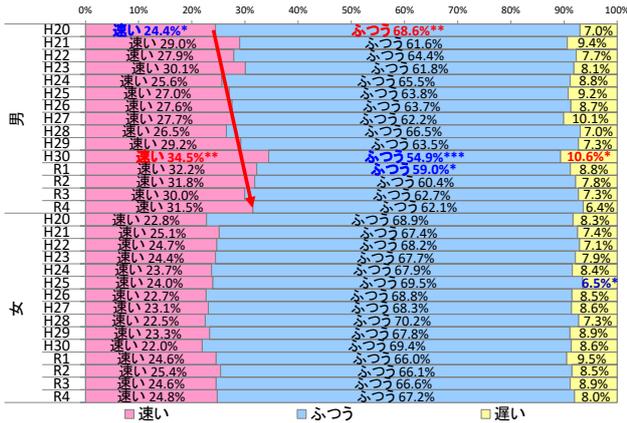


3 早食い(平成20年度～令和4年度結果)

特定健康診査結果から「人と比較して食べる速度が速い」人の状況を見ると、年次別には男性で「速い」が増加傾向にあります。(図表49)

年齢別には、男性の「40～64歳」で「はい」が多くなっています。(図表50)

図表49 早食い(性別年次別)



図表50 早食い(性別年齢別)



4 飲酒(平成20年度～令和4年度結果)

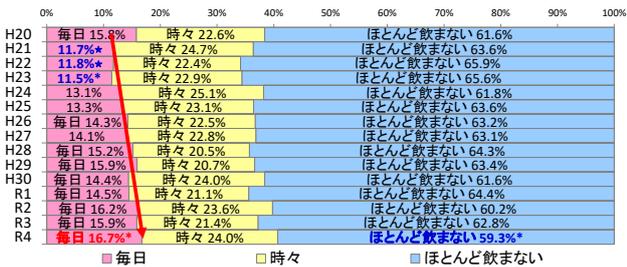
特定健診結果から女性で「お酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度」をみると、毎日飲酒する人は増加傾向にあります。(図表51)

また、年齢別には40～64歳で毎日飲酒する傾向が強くなっています。(図表52)

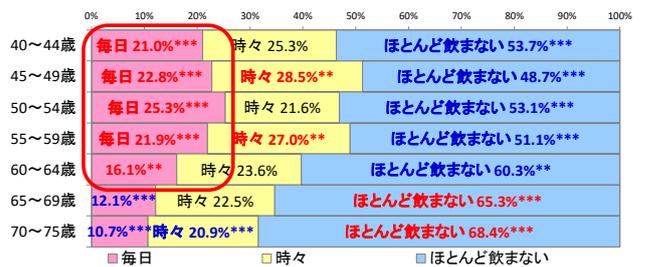
一方、「飲酒日の1日あたりの飲酒量」は、1合未満が減って、それ以上が増加する傾向にあります。(図表53)

年齢別には、40～64歳で飲酒量が多い傾向を示しています。(図表54)

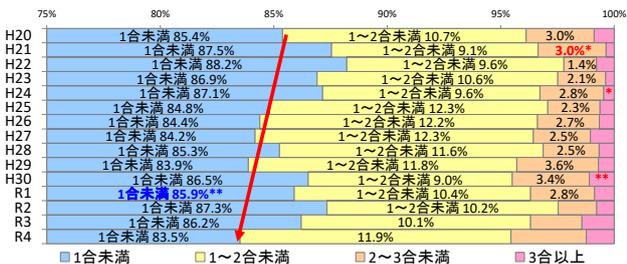
図表51 飲酒の頻度(女性年次別)



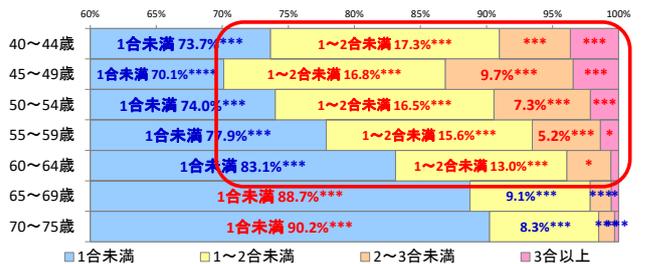
図表52 飲酒の頻度(女性年齢別)



図表53 飲酒日の1日あたりの飲酒量(女性年次別)



図表54 飲酒日の1日あたりの飲酒量(女性年齢別)



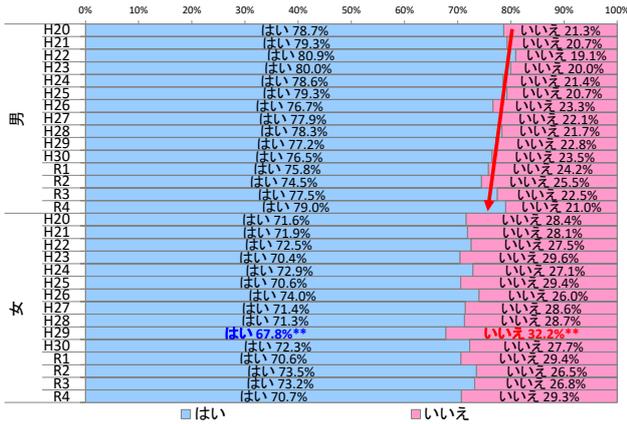
健康課題の把握

5 睡眠(平成20年度～令和4年度結果)

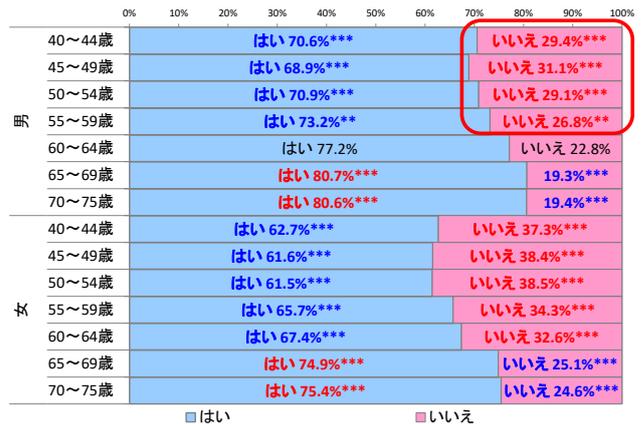
特定健康診査結果から「睡眠で休養が十分とれている」人の状況をみると、年次別には男性で「いいえ(とれていない)」が増加傾向にあります。(図表55)

年齢別には、男性の「40～59歳」で「いいえ」が多くなっています。(図表56)

図表55 睡眠(性別年次別)



図表56 睡眠(性別年齢別)

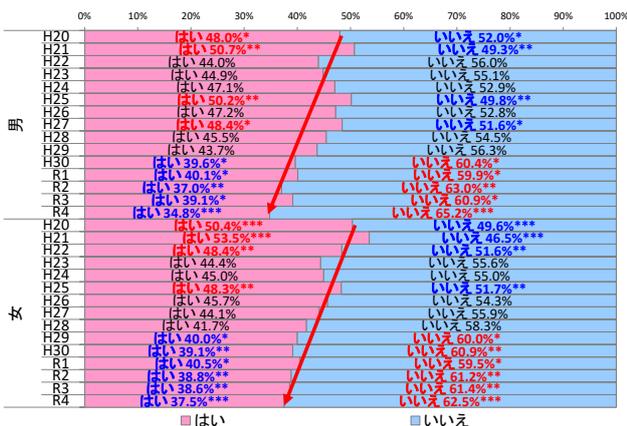


6 保健指導の希望(平成20年度～令和4年度結果)

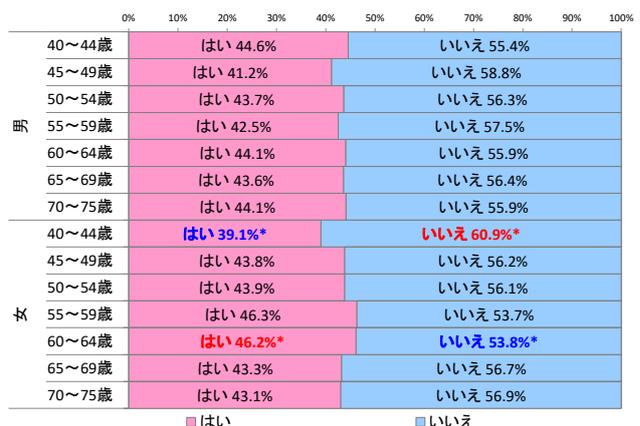
「生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば、利用しますか」という問いに対し「はい(利用する)」と回答した人は、男女とも減少傾向にあります。(図表57)

年齢別には、特に傾向はみられません。(図表58)

図表57 保健指導を利用したい(性別年次別)



図表58 保健指導を利用したい(性別年齢別)



7 健康課題のまとめ

これまでに実施している保健事業の評価とデータ分析から見える本町の特徴等を踏まえ、本町における健康課題を把握しました。なお、前回第2期計画策定時と、今回の特徴変化を比較できるようにしました。

項目	第2期計画時の分析結果	今回の分析結果
医療の受診率(図表12)		● 歯科受診率が低い。
疾病別医療費(図表15~17)	<ul style="list-style-type: none"> ● 疾病大分類別では、入院医療費は、循環器系の疾患、新生物が多い。 ● 外来医療費は、内分泌、栄養及び代謝疾患が多い。 ● 疾病中分類別では、入院＋外来合計で腎不全が一番多くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 疾病大分類別では、入院医療費は、新生物、循環器系の疾患が多い。 ● 外来医療費は、新生物、内分泌、栄養及び代謝疾患が多い。 ● 疾病中分類別では、入院＋外来合計でその他の悪性新生物が一番多くなっている。
人工透析患者の状況(図表18)	● 人工透析患者数は30人弱で推移している。	
特定健康診査の実施状況(図表19~22)	<ul style="list-style-type: none"> ● 受診率は経年でみると上昇しているが、県下で下から3番目と低い。 ● 3年間以上継続して受診されている人が約4割と低い。 	○ 県平均と差がない。
特定保健指導の実施状況(図表23~26)	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定保健指導実施率が県平均より低い ● 特定保健指導の対象者が増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県平均と差がない。 ○ 特定保健指導の対象者はほぼ横ばい。
健診結果における有所見の状況(図表27~28)	<ul style="list-style-type: none"> ● 有所見者の標準化比では県に比べ特に高いものはみられない。 ● 全体的に既往歴、LDL コレステロール、空腹時血糖、HbA1cが高い。 ● 男性では既往歴、中性脂肪、尿糖、血色素量が悪化。女性では、既往歴、γ-GTPが悪化傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 有所見者の標準化比では県に比べ女性で中性脂肪高値が多い。 ● 全体的に BMI、腹囲、既往歴、収縮期血圧、e-GFR、空腹時血糖、HbA1c、尿糖が高い。 ● 男性では BMI、腹囲、既往歴、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、e-GFR、尿酸、空腹時血糖、HbA1c、尿糖が悪化。女性では、BMI、腹囲、既往歴、収縮期血圧、γ-GTP、e-GFR、空腹時血糖、HbA1c、尿糖が悪化傾向にある。
高血圧リスクの状況(図表29~30)	<ul style="list-style-type: none"> ● 基準値以内の人は約5割しかいない。 ● 即受診レベルの人は男性で4.3~7.9%、女性で3.4~5.3%程度と男性が多い。 ● 即受診レベルでは男性で67.8%、女性で76.8%が服薬していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基準値以内の人が第2期より減った。 ● 即受診レベルの人が第2期より増えた。 ● 即受診レベルでは男性で67.1%、女性で64.0%が服薬していない。
糖尿病リスクの状況(図表31~32)	<ul style="list-style-type: none"> ● 基準値以内の人は男性で約4割、女性で約5割しかいない。 ● 即受診レベルの人は男性で1.9~3.3%、女性で0.4~1.3%と男性が多い。 ● 即受診レベルでは男性で56.6%、女性で48.2%が服薬していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基準値以内の人が第2期より減った。 ● 即受診レベルの人が女性で第2期より増えた。 ○ 即受診レベルで服薬していない人は、男性で第2期より減った。

健康課題の把握

項目	第2期計画時の分析結果	今回の分析結果
糖尿病リスクの状況 (図表 31～32)	<ul style="list-style-type: none"> ● 基準値以内の人は男性で約4割、女性で約5割しかいない。 ● 即受診レベルの人は男性で1.9～3.3%、女性で0.4～1.3%と男性が多い。 ● 即受診レベルでは男性で56.6%、女性で48.2%が服薬していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基準値以内の人が第2期より減った。 ● 即受診レベルの人が女性で第2期より増えた。 ○ 即受診レベルで服薬していない人は、男性で第2期より減った。
高脂血症リスクの状況 (図表 33～34)	<ul style="list-style-type: none"> ● 基準値以内の人は約4割しかいない。 ● 即受診レベルの人は男性で1.6～4.1%、女性で4.1～8.5%程度と女性が多い。 ● 即受診レベルでは男性で89.2%、女性で90.2%が服薬していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基準値以内の人が第2期より増えた。 ○ 即受診レベルの人は第2期より増えた。 ● 即受診レベルでは男性で90.7%、女性で87.1%が服薬していない。
腎機能リスクの状況 (図表 35～39)	<ul style="list-style-type: none"> ● 要指導の「G3a 以上」は、男性で13.5～16.9%、女性で12.4～15.3%程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 要指導の「G3a 以上」は、男女とも第2期より増えた。
問診結果の状況 (図表 40)	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性で毎日飲酒、飲酒量が増加。 ● 標準化比では女性で喫煙、体重増減、朝食欠食、毎日飲酒が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 男性で、20歳からの体重増加、早食い、睡眠不足、保健指導希望なしが増加。 ● 女性で、飲酒、保健指導希望なしが増加。
問診結果の標準化比 (図表 41)	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性で喫煙、体重増減、朝食欠食、毎日飲酒が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 男性で、1日1時間以上運動なし、咀嚼-噛みにくいが高い。 ● 女性で、喫煙、毎日飲酒、1日飲酒量(3合以上)、咀嚼-噛みにくいが高い。
体重変化(図表 45～48)		<ul style="list-style-type: none"> ● 男性で20歳時の体重から10kg以上増加している人が増えている。 ● 男性で、この1年間で体重増減が±3kg以上あった人が増えている。
早食い(図表 49～50)		<ul style="list-style-type: none"> ● 男性で食べる速度が速い人が増えている。
喫煙、朝食の欠食	<ul style="list-style-type: none"> ● 喫煙率が下がっていない。女性の喫煙が多い。 ● 若いほど朝食の欠食が多い 	
飲酒(図表 51～54)	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性で毎日飲酒する人が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性で毎日飲酒する人が増えており、1日当たりの飲酒量も増えている。
睡眠、保健指導の希望(図表 55～58)		<ul style="list-style-type: none"> ● 男性で、睡眠で休養が十分とれていない人が増えている。 ● 男女とも保健指導を利用したい人が減っている。

主要健康課題

第2期計画時の主要健康課題	今回の主要健康課題
循環器系疾患、新生物、内分泌系疾患、腎不全が医療費の上位を占めている。	新生物、循環器系疾患、内分泌系疾患、腎不全が医療費の上位を占めている。
特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率が低い。	特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率が目標より低い。
高血圧リスク、糖尿病リスク、高脂血症リスクが高く、かつ即受診レベルでも服薬していない人が多い。	高血圧リスク、糖尿病リスクが高い。
朝食の欠食、女性の飲酒、喫煙が高いなど、生活習慣の問題がある。	男性では、体重増加、運動なし、早食い、咀嚼-噛みにくい、睡眠不足など、生活習慣の問題がある。
	女性では、喫煙、飲酒、咀嚼-噛みにくいなど、生活習慣の問題がある。